

令和2年度 社会福祉法人阿南淡島会事業報告書

第1編 法人全体の部

1 中期事業計画の推進

「中期事業計画」は、令和元年度から5年間に解決すべき課題等を明らかにした上で、事業運営に取り組むため策定したものです。令和2年度は、引き続き4つの基本方針に基づき、個別の事業を実施しました。

① 利用者の人権尊重と福祉サービスの質の向上

利用者一人ひとりの尊厳と人権を尊重し、希望に基づく自立生活を支援するとともに、利用者の安全・安心と満足感に満ちた福祉サービスを提供するよう努めました。

② 地域における公益的取組みと情報発信

地域に開かれた事業経営を目指すため、情報公開を積極的に進めるとともに、公益的な取組を推進するよう努めました。

③ やりがいある職場環境づくりと人材育成

福祉サービスの継続と発展のために、全ての職員が生き生きとやりがいを持って働ける職場環境づくりと人材育成に取り組むよう努めました。

④ コンプライアンスの徹底と公正で透明性高い組織構築

マネジメントについては、コンプライアンスを徹底するとともに、公正かつ透明性の高い組織体制を構築し、健全な財務規律を確立するよう努めました。

2 重点取組の状況

(1) サービスの質の向上と人材育成

職員の資質向上や専門知識の取得、高度な看護技術が求められており、これらの課題を克服するよう、外部団体が主催する研修会等へWEBによる参加を促進（年間延べ48名）するとともに、「社会福祉士」「精神保健福祉士」など利用者の支援に有益な資格の取得を促進するため助成制度を用意。令和2年度の新規取得者はありませんが、これまでに資格取得した職員数は、社会福祉士6名、精神保健福祉士3名。

(2) 権利擁護の徹底

職員に対し人権の擁護及び虐待の防止等に関する研修を行い、常に利用者や保護者に対して人権の擁護及び虐待の防止等に意識を持って支援してきました。

(3) リスクマネジメントの強化

緊急時だけでなく、普段からリスクを前提にした思考や行動ができるよう、職員間で話し合うとともに、訓練を重ねてきました。

■避難訓練・火災訓練等		表中「訓練・備蓄等」の項目で「※」を付したものは新築した「防災棟」に収納	
訓練・備蓄等	具 体 的 内 容	実施状況等	
○火災避難訓練	・館内放送に従い出火場所から遠い場所へ避難	年6回	
○消火訓練	・消防機器取扱事業者の指導による訓練など（6・3月）	年2回	
○地震・津波避難訓練	・館内放送の指示に従って決められた場所に避難	月1回	
○AED操作訓練	・阿南市消防署の指導による訓練（10・12月）	年2回	
○非常食の備蓄	※ ・水、白飯、五目飯、ドライカレー、パン、缶詰等	1,200食分	
○非常時の水の備蓄	※ ・飲料水2リットル入りペットボトル	600本	
○災害用品の備蓄	※ ・ポータブルトイレ、タオル、毛布、懐中電灯等	非常時使用	
○防犯装置	・セコム㈱に警備委託。別に防犯カメラ設置。	防犯カメラ5台設置	

<新型コロナウイルス感染防止対策>

■ 昨年(令和2年)2月中旬に県内初の感染者が発生。4・5月には全国に緊急事態宣言が発令されたため、当法人では学園内へのウイルス持ち込みを防ぐとの強い意思のもと、次の取組を行いました。

- ・職員は「マスクの着用」「手指消毒の徹底」を図るとともに、出勤前には必ず検温を行い、出勤後「健康管理表」への記入を義務付けています。また、職員本人又は同居者が県外へ出かけた場合、或いは、県外から帰省した者と接触した場合、一定期間（概ね1週間）出勤しないよう指導しました。
- ・利用者には、定期的に検温を実施し、37.5度以上の場合は他の利用者から隔離しました。
- ・園舎内の消毒の徹底を図るとともに、窓を定期的に開けて、空気の入替えを行いました。
- ・3密（密閉・密集・密接）を避けるため、外部団体が実施する会議・研修会はWEB方式に切り替えられたことから、学園でもWEBへの対応ができるよう機器を整備。また、淡島祭や運動会など、外部の方も交えた園内でのイベントを中止しました。
- ・4月から5月の大型連休や8月のお盆時期には、通所による生活介護の受入れを中止するとともに、入所者の外泊の取りやめ、面会の制限などを実施。また、9・10月は短期入所の受入れを取りやめ、単発の利用については現在まで引き続き停止しています。

■ また、次のとおり衛生用品、器具、備品等の整備を図りました。

- ・県の感染拡大防止等支援事業を活用して、「衛生用手袋」「防護エプロン」「除菌マット」「除菌用タオル」「非接触型体温計」「空気清浄機」など、感染防止に必要な物品等を整備。

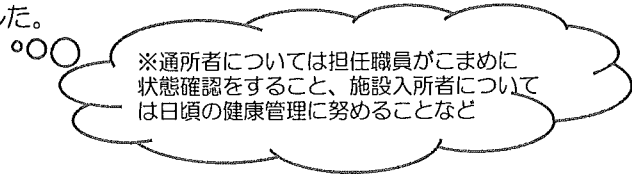
※事業費 2,973,487円（補助額 2,770,000円）

- ・国、県等から緊急支援用として、「マスク」「消毒用エタノール」などの現物の支給がありました。

※寄付台帳登載価格 250,320円

(4) 財政状況の安定化

上質なサービスを安定的に提供するためには、財政基盤の安定が不可欠です。そのためには、常に無駄な支出を減らすとともに、事業活動収入の約8割を占める「生活介護」「施設入所支援」などの介護給付費に係る利用率向上による収入増を目指しました。



(5) 施設・設備の整備

現在地への新築移転から18年が経過し、施設の修繕や設備の更新が必要となっていることから、社会福祉充実残額を活用して、防災棟の新築、施設の改修等を行うとともに、器具及び備品の整備も進めてきました。

■施設・設備等の整備状況		金額欄に「※」がついているものが、社会福祉充実計画に基づき整備した施設・設備等			
No	施設・設備等の整備箇所等	整備の状況			
		取得時期	整備の内容	金額(千円)	業者名
1	小型バス購入	令和2年 06月30日	施設利用者の園外行事に使用しており、車歴17年の小型バスを更新	7,437	四国機器(株)
2	管理棟給排水配管修繕他	令和2年 09月07日	地盤沈下により切断された管理棟WC土間下の給排水配管を修繕	2,750	清水建設(株)
3	管理棟男子用WCシャワートイレ取替	令和2年 08月07日	管理棟男子用WCに設置しているシャワートイレが故障したため取替	176	(株)四電工
4	学園正面玄関外構修繕工事	令和2年 10月30日	軟弱地盤の為不等沈下して歩行に支障を来たすようになったため全面改修	※ 9,900	清水建設(株)
5	学園正面玄関門扉外修繕工事	令和2年 10月30日	外構工事にあわせて周辺のフェンス及び駐車場の一部の舗装を改修	6,380	清水建設(株)
6	学園正面玄関門扉外修繕工事の追加工事	令和2年 10月30日	門扉外修繕工事に関してインターホン取替などの追加工事分	462	清水建設(株)
7	空気清浄機購入	令和2年 11月06日	新型コロナ対策として国補助金を活用して購入した機器	402	マスコット(株)
8	全自動洗濯機修理	令和2年 11月10日	利用者の衣類等を洗濯・脱水する大型洗濯機の制御用コンピュータの交換	127	神前鉄工(株)
9	防災棟無線環境構築工事	令和2年 11月16日	防災棟でWiFiが使えるようにするための機器類設置工事	462	(株)金剛
10	居室の壁紙貼替等工事	令和2年 11月30日	特に老朽化が著しい居室の壁紙貼替等改修工事	140	ナカノ内装 中野総一郎
11	テント購入	令和2年 12月25日	屋外活動を行う際の日除け用として歳末助け合い寄付金を活用して購入	163	(有)フジシマス ポーツ
12	ワイヤレスマイク用チューナー購入	令和3年 01月22日	スポーツホールの放送設備が故障したためチューナーを取替	115	(有)タニモトデン キ
13	高圧蒸気滅菌機購入	令和3年 02月01日	保健室の高圧蒸気滅菌器が故障した為国の新型コロナ補助金を活用して購入	383	(株)グランドプ ラス
14	カメラ付きノートパソコン購入	令和3年 02月04日	WEBによる会議や研修会が増えた為新たに機器を整備	136	(株)金剛
15	厨房用ガステーブル購入	令和3年 02月08日	学園移転時に購入した機器が老朽化で故障したため急遽取替	277	厨房機器サービ スキムラ 木村雅美
16	居室の壁紙貼替等工事	令和3年 02月08日	特に老朽化が著しい居室の壁紙貼替等改修工事	118	ナカノ内装 中野総一郎
17	障害者用介護ベッド購入	令和3年 02月24日	支援員の負担軽減等を図るため国補助金を活用して介護用ベッド5台を導入	1,496	(株)グランドプ ラス

（6）社会貢献活動

自主防犯パトロールとして、1週間に5回、地元の富岡・見能林地区を3方面に分け、小・中学校の下校時に合わせて青色防犯パトロール活動を行っています。（2年度は172回、延べ344名従事）

また、淡島海岸で流木や紙、プラスチックなどのごみを拾ったり、日頃、利用者が休憩に立ち寄る東部公園における月1回の清掃活動などの園外活動を実施。さらに、毎月1回、第2土曜の午後、障害の有無に関係なく気軽に茶飲み話をしたり、レクリエーションを楽しむことができる場所を提供する「ほんわかカフェ」を開設し、学園に対する理解を深めていただきました。（1回当たり平均10名程度）

3 会議の開催等

（1）評議員会の開催

○第1回評議員会（決議の省略）

決議日 令和2年4月22日（水）

議題 第1号議案 監事の選任の件

○定時評議員会

開催日 令和2年6月13日（土）

場所等 淡島学園会議室／評議員7名、理事長、監事2名出席

議題 報告事項 令和元年度事業報告の件

第1号議案 令和元年度計算書類等の承認の件

第2号議案 社会福祉充実計画の承認の件

（2）理事会の開催

○第1回理事会

開催日 令和2年3月14日（土）

場所等 淡島学園会議室／理事5名、監事1名出席

議題 第1号議案 令和元年度第2次補正予算の承認の件

第2号議案 令和2年度事業計画及び当初予算の承認の件

第3号議案 マイカー通勤管理規程制定の件

○第2回理事会（決議の省略）

決議日 令和2年4月13日（月）

議題 第1号議案 監事を選任するための評議員会の招集の件

第2号議案 評議員選任・解任委員の選任の件

第3号議案 苦情解決要綱に係る第三者委員の選考の件

○第3回理事会

開催日 令和2年5月23日（土）

場所等 淡島学園会議室／理事6名、監事2名出席

議題 第1号議案 令和元年度事業報告及び計算書類等の承認の件

第2号議案 社会福祉充実計画の承認の件

第3号議案 定時評議員会の招集の件

○第4回理事会（決議の省略）

決議日 令和2年6月19日（金）

議 題 第1号議案 畷町内会との「災害時等における相互応援協定に関する協定」の締結の件

○第5回理事会

開催日 令和2年12月19日（土）

場所等 淡島学園会議室／理事6名、監事2名出席

議 題 第1号議案 令和2年度第1次補正予算の承認の件
 第2号議案 ハラスメント防止対策に係る規程等の整備の件
 第3号議案 評議員選任・解任委員の欠員に伴う補充の件
 第4号議案 淡島学園ロゴマーク制定の件

(3) 監事監査の実施

開催日 令和2年5月14日（木）

場所等 淡島学園会議室／監事2名出席

結 果 令和元年度の本部会計、施設会計、短期入所事業会計、相談支援事業会計の執行状況及びこれに伴う関係書類並びに法人、施設の関係書類、また、法人、施設の運営状況の各項目について監査し、適正に執行できていると認められました。

4 法人の役員等の状況

（令和3年3月31日現在）

区分	定数	役員等の氏名（敬称略）	任 期
評議員	7名	松原良明、広瀬淳之、窪田光子、大松谷武司、尾崎正憲、松原和子、内海 剛	令和5年6月の定時評議員会の終結時まで
理 事	6名	三牧スマ子(理事長)、石橋堯雄(業務執行理事)、田中敏彦、阪井俊弘、蟻馬 治、岩崎世都子	令和3年6月の定時評議員会の終結時まで
監 事	2名	東野 享、打樋昌之(4月22日就任)	同 上
評議員選任・解任委員	3名	松崎清治(外部委員)、東野 享(監事/4月13日就任)、石橋さよみ(職員/12月19日就任)	令和4年6月の定時評議員会の終結時まで

5 職員の状況

（令和3年3月31日現在）

常勤職員	常勤職員合計 ①								非常勤職員 ②	職員の総数 ①+②
	園長	事務員	サービス管理責任者	生活支援員	看護師	栄養士	相談支援専門員			
男	0	1	0	16	0	0	1	18	1	19
女	1	2	1	14	1	1	1	21	7	28
計	1	3	1	30	1	1	2	39	8	47
30年度	1	4	1	30	3	1	2	42	5	47

※複数の職を兼務している職員は、本務の職に計上しています。

6 法人が運営する事業内容

事業所の名称	サービスの種類	指定権者	指定の有効期間	備考
◎ 障害者支援施設 淡島学園	・生活介護	・徳島県知事	平成29年10月1日から 令和5年9月30日まで	・定員80名
	・施設入所支援			・定員70名
	・短期入所支援	・徳島県知事	平成30年10月1日から 令和6年9月30日まで	・定員2名
	・日中一時支援	・4市町の長	毎年度更新	・定員5名
◎ 相談支援事業 淡島学園	・指定特定相談支援	・阿南市長	平成30年4月1日から 令和6年3月31日まで	
	・指定障害児相談支援			
	・指定一般相談支援(地域移行)	・徳島県知事	令和31年4月1日から 令和7年3月31日まで	
	・指定一般相談支援(地域定着)			

※「日中一時支援」の契約市町：徳島市、小松島市、阿南市、那賀町

<相談支援に係る受託事業>

受託事業の名称	受託した事業の内容	委託先の市町	委託契約の期間	備考
○ 障害支援区分 認定調査業務	阿南市から通知のあった対象者の障害支援区分を認定するために必要な調査を行い報告	・阿南市	令和2年4月1日から 令和3年3月31日まで	
○ 相談支援事業 委託事業	障害者に対する相談支援、住居入居等の支援、成年後見制度の利用支援などを実施	・阿南市 ・小松島市 ・那賀町	令和2年4月1日から 令和3年3月31日まで	委託契約の相手先は3市町の代表である小松島市
○ 障害者虐待の防止と対応に関する支援事業の委託	障害者虐待を受けた障害者の保護のため、障害者及び養護者に対して行う相談、指導及び助言等の支援など	・阿南市 ・小松島市 ・那賀町	令和2年4月1日から 令和3年3月31日まで	

第2編 淡島学園の部

1 事業所運営の総括

利用者の自立と社会生活への参加の促進を図り、その育成に必要な支援及び訓練を行いました。

また、利用者の人格を尊重し、常に利用者の立場に立った支援を行うことが重要と認識して、利用者及びその家族のニーズを的確にとらえた「個別支援計画」を作成し、適切なサービスが提供できるよう努めました。

さらに、できる限り居宅に近い環境の中で、地域や家族との結びつきを重視した運営を行い、市町村、障害者支援施設、障害福祉サービス事業を行う者、その他保健医療や福祉サービスを提供する者との密接な連携に努めました。

2 福祉サービスに関する事業所の体制

(1) 人権擁護及び虐待の防止委員会

職員に対し、人権擁護及び虐待の防止に関する研修を行い、常に利用者やその保護者に対し「人権擁護及び虐待防止」等の意識を持って支援するとともに、組織体制を整備しました。

- ・ 責任者 三牧スマ子（園長）
- ・ 専従委員 山崎師郎、柏木多恵、森田真由美、原 和男（以上、サービス管理責任者）
板東基史、黒田真貴子、松葉幸子、高橋和架子、松田知歩（以上、生活支援員）

(2) 苦情解決体制

苦情に対応しその解決を図るため、受付窓口、責任者、第三者委員等を選任するなど、苦情解決体制を整備しました。※令和2年度は3件の苦情がありました。（令和元年度は3件）

- ・ 相談窓口 淡島学園 電話（0884）22-0379/FAX（0884）22-6648
- ・ 責任者 三牧スマ子（園長）
- ・ 受付担当 山崎師郎、柏木多恵（以上、サービス管理責任者）
- ・ 第三者委員 松原良明（法人評議員）、東野 享（法人監事）

■苦情解決事項		
苦情の時期及び申出人	苦情の内容	学園の苦情への対応状況
① 令和2年5月19日 入所者Aの親	利用者Aのタンス内が乱雑で汚れている衣類もあった。整頓、洗濯をしっかりとしてほしい。	担当が居室の整理整頓に努めること、夜間の汚れ物は夜勤者が洗濯に出すこととし、作業班担当者が部屋を確認することとした
② 令和2年8月5日 入所者Bの親	8月の園だより「帰省を控えるように」との記事を見て「帰省できないのは納得できない」との意見	利用者が帰省中に外を出歩くと感染の危険が高くなるので、学園で過ごしてもらった方が安全だと説明。
③ 令和2年10月28日 入所者Cの親	利用者Cの背中の肌荒れが気になるので、病院で診察を受けさせてほしいとの申出。	協力医療機関を受診。背中から腰にかけてひっかき傷あり。塗り薬を処方されたので毎晩塗布。その旨Cの親に報告。

年度/区分	事 故 の 内 容						事故総数 (左記の計)	ヒヤリハット (件数)		
	誤 薬	異 食	転倒等	暴 力	無断外出	その他		暴力行為	その他	
令和2年度	4	0	6	1	2	0	13	6	3	3
令和元年度	3	1	4	2	5	2	17	3	0	3

（原因と対応）

- 誤薬は4件とも食後の服薬の際、他の利用者の薬を飲ませたもの。いずれも確認が不十分なために起きた事故。確認行為の徹底を図った。
- 転倒等のうち1件は階段を踏み外し転落したもの。また、2件はふらつきから転倒したもの。いずれも気を緩めることなく対応するよう指示。
- 暴力行為は、弱者に向かうことが多いので、利用者の状況把握、職員間の連携徹底を指示。
- 無断外出は、支援員が利用者の所在確認を頻繁に行うなど、きめ細やかな対応をするよう指示。
- ヒヤリハット事例については、重大な事故につながらないように、再度のマニュアル徹底を指示。

（3）給食委員会

給食をよりおいしく食べられるよう、献立、味付け、量などについて、委託業者と学園職員が月1回協議の場を設けました。

- ・ 委託業者 「ミント」の職員、栄養士、調理員
- ・ 淡島学園 三牧スマ子（園長）、原田律子（栄養士）、
山崎師郎、柏木多恵、森田真由美（以上、サービス管理責任者）

（4）防災委員会

火災だけでなく、地震、津波による被害を防ぐため、毎月1回話し合いの場を設けました。

- ・ 責任者 三牧スマ子（園長）
- ・ 委員 豊岡正志（防災管理者）、山崎師郎、柏木多恵、原 和男、森田真由美（以上、サービス管理責任者）、吉野輝明、森本真由美（以上、生活支援員）

（5）班長会

利用者のサービス向上に向けて、ひまわり班をはじめ5つの班の現状と課題を検討するため、毎月1回開催しました。

- ・ 構成員 三牧スマ子（園長）、山崎師郎、柏木多恵、原 和男、森田真由美（以上、サービス管理責任者）、森本真由美（ひまわり班）、豊岡正志（アサヒ班）、赤松俊明（エール班）、泉 文昭（カモト班）、吉野輝明（スマイル）

3 支援事業実施報告

(1) 生活介護事業

昼間において常に介護を必要とする利用者について、各自の障害の程度や希望を取り入れて、生活班と作業班に分けて個別支援計画を立て、各班独自の支援を行いました。生活班は、基本的な生活習慣である食事、排せつ、清潔、睡眠、衣類の着脱等に主眼を置いて実施。また、作業班では、利用者の能力に応じた作業訓練を実施し、勤労意欲、自主性、協調性を養い、社会に役立てるという自覚を持ってもらうといった支援を行いました。

(2) 施設入所支援事業

夜間における入浴、排せつ、食事等の介護を行い、夜間の生活におけるくつろぎの場を提供し、就眠の確保を図るよう支援。職員は利用者一人ひとりの要望に応じて、常にきめ細やかな支援を行うよう心がけてきました。

(3) 短期入所事業

居宅において介護を行う者の疾病その他の理由により、短期間の入所を必要とする障害者等につき、入浴、排せつ、食事の介護、その他必要な支援を行いました。なお、新型コロナウイルス感染拡大を防ぐとの観点から、9・10月の2カ月間は受入れを中止するとともに、11月以降は通所による生活介護利用者以外の短期入所受け入れについては、引き続き中止しています。

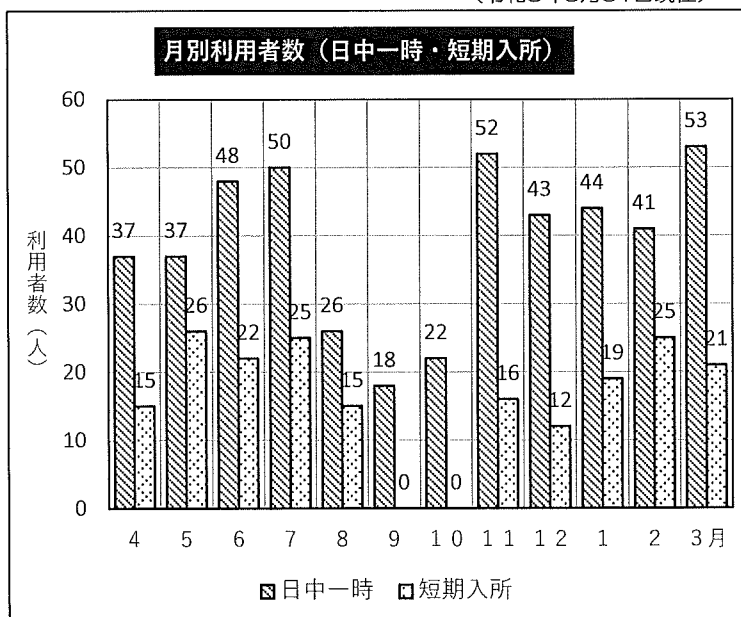
(4) 日中一時支援事業

障害者等を日常的に介護している家族の一時的な休息の時間を提供するため、障害者及び障害児に活動の場を用意し、社会に適應するための日常的な訓練を支援しました。

<支援区分別利用者の状況> ()内は平均利用者数

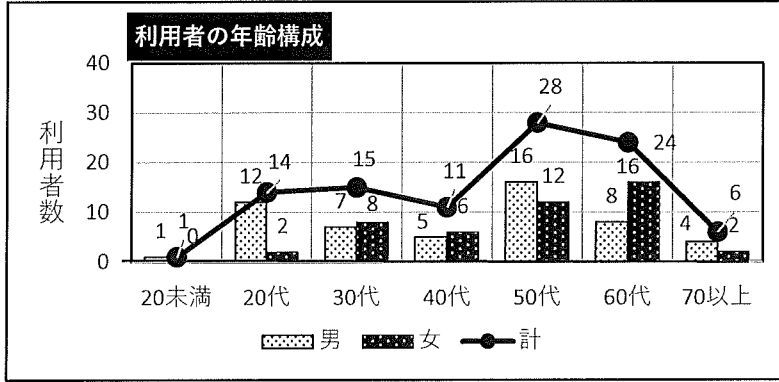
(令和3年3月31日現在)

支援区分		02年度	01年度
生活介護	男	53	51
	女	46	46
	計	99(92.0)	97(86.1)
施設入所支援	男	40	40
	女	36	36
	計	76(75.9)	76(70.4)
短期入所事業	男女延べ人数	196	423
日中一時支援	男女延べ人数	471	581



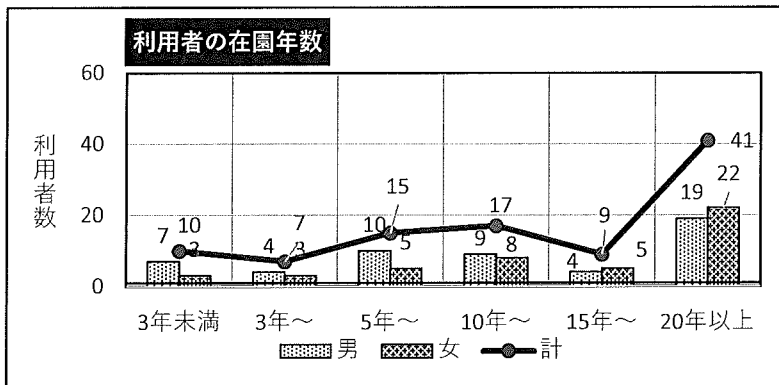
※短期入所は、新型コロナウイルス感染防止対策のため、9・10月は受け入れを中止した。

＜生活介護・利用者の年齢構成・在園年数＞



＜利用者の年齢構成＞

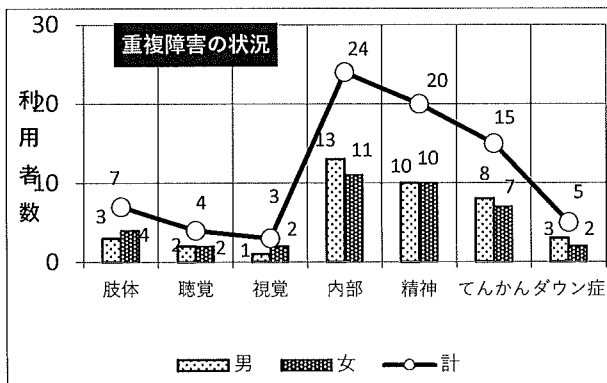
- 最高年齢 89歳
- 最低年齢 19歳
- 平均年齢 49.7歳



＜利用者の在園年数＞

- 最短は 1年未満
- 最長は 57年
- 平均は 22.9年

＜重複障害の状況、障害の程度・区分＞



療育手帳				障害支援区分			
程度	男	女	計	区分	男	女	計
A1	26	12	38	6	30	15	45
A2	20	20	40	5	10	13	23
B1	6	11	17	4	12	11	23
精神	0	3	3	3	1	7	8
その他	1	0	1	2	0	0	0
計	53	46	99	計	53	46	99

＜生活介護・市町村別利用者の状況＞

（令和3年3月31日現在）

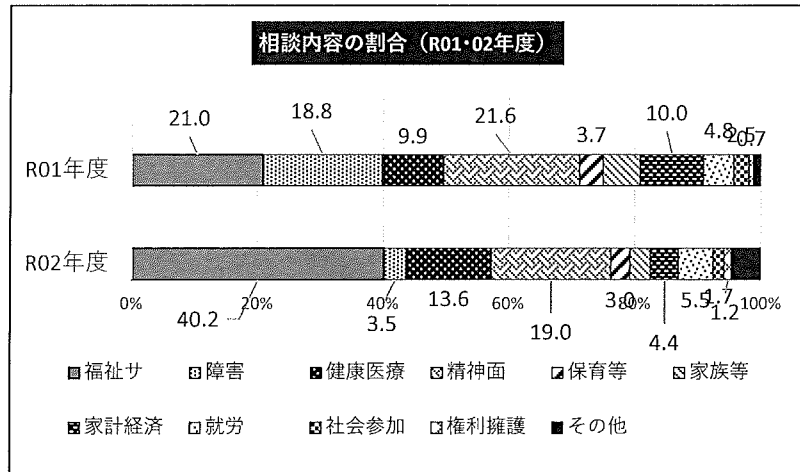
令和2年度	市町村別																合計
	徳島市	鳴門市	小松島市	阿南市	吉野川市	阿波市	美馬市	上勝町	佐那河内村	神山町	那賀町	美波町	海陽町	北島町	上板町	大阪市	
男	6	1	10	26	1	1	0	0	0	0	2	3	1	1	1	0	53
女	7	0	9	20	0	1	3	1	1	1	2	0	0	0	0	1	46
計	13	1	19	46	1	2	3	1	1	1	4	3	1	1	1	1	99
元年度	13	1	19	44	1	2	3	1	1	1	4	3	1	1	1	1	97

（5）相談支援事業

地域の障害者または障害者の保護者からの福祉に関する相談に応じ、必要な情報の提供や助言を行うとともに、これらの者と市町村及び指定障害福祉サービス事業者等との連絡調整を行いました。また、利用者別のサービス利用計画の作成等も行いました。

＜相談支援の利用状況＞（ ）内は令和元年度の状況

市町別	利用者の実人数	
	障害者	障害児
・小松島市	8 (5)	0 (0)
・阿南市	159 (122)	42 (36)
・那賀町	7 (6)	1 (2)
※ 計	174 (131)	43 (38)



4 利用者へのサービス提供の状況

（1）健康管理支援

高齢化に伴う体力の低下とともに疾病が増えることから、年2回の定期健康診断により疾病の早期発見・早期治療に努めました。また、高齢者に対してはそれぞれの健康状態に応じて内科検診のほか、歯科、耳鼻科、皮膚科、眼科等の検診も行うなど、きめ細やかな支援に努めました。

※令和2年度の医療機関受診の延べ人数は、全体で799人（平均11回）／前年度1,104人（平均15回）

- ・男子339人（平均8回）／前年度465回（平均12回）
- ・女子460人（平均13回）／前年度639人（平均18回）

■入所者の医療機関受診状況						
医療機関名	診療科目	所在地	年間の受診状況（人）			
			男子	女子	合計	
協力医療機関	・村上内科外科医院	内科・外科	阿南市	46	78	124
	・富田病院	精神科	美波町	13	38	51
	・八多病院	精神科	徳島市	26	67	93
	・杜のホスピタル	精神科	阿南市	96	66	162
	・神原歯科医院	歯科	〃	27	21	48
	・木下婦人科医院	婦人科	〃	0	2	2
その他	・上村皮膚科	皮膚科	〃	6	30	36
	・阿南医療センター	内科ほか	〃	44	52	96
	・その他			81	106	187
(合計)				339	460	799

■利用者の健康管理等		
実施区分	実施医療機関等	実施状況等
○健康相談	・村上内科外科医院	月1回
○定期健康診断	・村上内科外科医院（4・9月）	年2回
○成人病検診	・木下婦人科医院（4月）	年1回
○レントゲン診断	・とくしま未来健康づくり機構（7月）	年1回
○歯科診療	・歯科医師会口腔検診センター（1月に2回）	年1回
○インフルエンザ予防接種	・村上内科外科医院（11月）	年1回
○臨床実習・歯磨き指導	・四国歯科衛生士学院専門学校（6・11月各2回）	年4回
○長期投薬者の健康診断	・富田病院、八多病院、杜のホスピタル	随時
○害虫（ゴキブリ）駆除	・(株)ニッシンテクノス（5・11月）	年2回
○AEDの設置	・自動体外式除細動器	保健室

（2）給食支援

健康管理の面から肥満、高血圧、高コレステロール、糖尿病、痛風、アレルギー等の予防に力を入れ、食事の摂取量や内容、運動量に留意してきました。また、既に病気を持つ利用者には担当医の指示に従い、療養食献立と投薬で回復を図ってきました。

（3）災害対応支援

災害対応の避難訓練は、高齢者や身体障害のある利用者が多いため、昼間だけでなく深夜の発災も想定して実施しました。また、AEDの使用に熟練できるよう全職員を対象にした講習会を行うとともに、テレビや新聞などの災害報道を職員や利用者にも周知することにより、防災意識が高まるよう努めました。

さらに、「防災棟」は、津波や洪水の際に利用者が数日間避難できる場所と備蓄品の置き場、利用者の衣類等の保管庫を備えた災害対応施設として、令和元年11月から供用しています。

（4）保健衛生

常に手洗い、消毒などに留意し、食中毒、インフルエンザ、ノロウイルス等の感染症予防に努め、特に3月に入って感染が拡大してきた「新型コロナウイルス」感染防止対策として、手指消毒、園舎内消毒、マスク着用、入所者の外泊及び通所による利用の制限などを行いました。（第1編 法人全体の部2p参照）

（5）クラブ活動

習字や絵画の作品は力作が多いことから、展覧会で高い評価が得られました。また、日舞クラブは外部から指導者を招いており、踊りを通じて礼儀作法や集中力を身に付け、心を豊かにすることができました。

（6）環境整備と施設整備

施設内外の美化と利用者身辺の整理整頓・清潔に努めるとともに、月1回の「環境の日」を設けて、各場所の清掃を実施しました。また、施設・設備が壊れたりしているのを発見した場合、直ちに修理等を行うなど、利用者が安心して心地よい生活ができるよう努めました。（第1編 法人全体の部の3p「施設・設備の整備状況」を参照）

(7) 職員の資質向上

生活介護と入所支援の必要な知識や技能を身につけ、障害の特徴と留意すべきことを理解し、援助に必要な知識や技能を具体的に捉えるなど、人的資源の提供に努めました。

また、支援担当職員の資質向上に向けては、月1回の施設内研修に加えて、外部の研修会への参加を促進するなど、援助に必要な知識や技能が高められるよう努めるとともに、社会福祉士の資格取得費用の半額を補助することで有資格者が増えるよう努めました。

※学園の有資格者は社会福祉士6名、精神保健福祉士3名。

■施設内研修			
月	研 修 内 容	講師（事例発表者）	参加者
4	火災想定避難訓練	防火管理者	19
	防災機器関連の取扱い	//	20
5	学園における生活支援の在り方	サービス管理責任者（柏木）	43
6	火災を想定した避難訓練及び消火訓練	防災委員	35
7	交通安全研修	阿南市市民活動室室長補佐	38
8	感染症対策について	阿南医療センター・幸木千夏氏	39
	新型コロナ対策・通所者の班編成	サービス管理責任者（柏木）	39
9	火災想定避難訓練	防火管理者	28
	人権・虐待防止研修	サービス管理責任者（柏木）	30
10	心肺蘇生法の実技	阿南市消防本部消防署	18
	作業班の支援内容及び支援方法	サービス管理責任者（柏木）	34
11	起震車体験と「障がい者種別の特性に応じた防災対策」	県南部県民局危機管理担当	32
12	心肺蘇生法の実技	阿南市消防本部消防署	20
1	来年度に向けての見直し①/作業班の取扱いの件	サービス管理責任者（柏木）	45
2	来年度に向けての見直し②/生活班の取扱いの件	サービス管理責任者（柏木）	33
3	コロナ禍における福祉避難所の在り方	サービス管理責任者（山崎）	44

(517)

■施設外研修			
月	研 修 内 容	出 席 者	延べ人数
4			-
5	障害支援区分認定調査員研修（25日/WEB）	生活支援員	1
6			-
7	集団給食施設協議会研修会（30日/阿南保健所）	園長	1
	南部圏域危機管理関係職員研修会（31日/南部県民局）	サービス管理責任者	2
8	災害派遣福祉チーム員研修（4日/アスティ）	生活支援員	1
9	本人の意思に寄り添う意思決定支援研修（8日/WEB）	生活支援員	1
	相談支援従事者初任者研修（10・25・29・30日/WEB外）	生活支援員	2
	安全運転管理者講習（17日/夢ホール）	サービス管理責任者	1
	障がい者施設におけるクラスター発生対応訓練（18日/吉野川育成園）	サービス管理責任者	1

(前頁からの続き)

月	研 修 内 容	出 席 者	延べ 人数
10	発達障がい者支援関係者研修（13日/エコみらいとくしま）	相談支援専門員	1
	相談支援従事者初任者研修（16日/実習、29日/WEB）	生活支援員	2
	社会福祉法人におけるBCP策定研修①（26日/WEB）	事務室	1
	生活支援部会（29日/WEB）	生活支援員	1
	発達障がい者サポート研修（30日/県職員会館）	生活支援員	1
11	相談支援従事者初任者研修（9日/実習）	生活支援員	2
	強度行動障がい支援者養成研修（10・12日/障がい者交流プラザ外）	生活支援員	1
	集団給食施設協議会研修会（13日/阿南保健所）	生活支援員	1
	総務部会（17日/WEB）	事務室	1
	チームリーダー研修（17日/WEB）	生活支援員	1
	社会福祉法人におけるBCP策定研修②（18日/WEB）	事務室	1
	職場内研修担当者養成研修（24日/WEB）	生活支援員	1
記録の書き方研修（25日/WEB）	生活支援員	1	
12	相談支援従事者初任者研修（1・2日/WEB）	生活支援員	2
	共感を得ることば講座（10日/WEB）	生活支援員	1
	社会福祉法人におけるBCP策定研修③（14日/WEB）	事務室	1
	地域相談支援体制強化のための研修会（19日/WEB）	相談支援専門員	1
	生活支援部会（23日/WEB）	生活支援員	1
1	社会福祉法人会計セミナー（13日/WEB）	事務室	1
	社会福祉法人におけるBCP策定研修④（20日/WEB）	事務室	1
2	働き方改革推進セミナー（4日/総合福祉センター）	事務室	1
	相談支援人材育成研修（9日/WEB）	相談支援専門員	2
	ボランティア受入れのコーディネーション講座（12日/WEB）	生活支援員	1
	オンライン決算セミナー（16日/WEB）	事務室	1
	苦情受付担当者研修会（18日/WEB）	生活支援員	1
	社会福祉法人におけるBCP策定研修⑤（19日/WEB）	事務室	1
	同一労働同一賃金・ハラスメント防止対策等セミナー（19日/労働庁舎）	事務室	1
	相談支援専門員協会研修（20日/ふれあい健康館）	相談支援専門員	1
	集団給食施設協議会研修会（24日/WEB）	栄養士	1
	総務部会（25日/WEB）	事務室	1
相談支援専門員協会研修（27日/ふれあい健康館）	相談支援専門員	1	
3	福祉避難所の運営を考える講座（2日/WEB）	サービス管理責任者	1
	相談支援専門員協会研修（13日/ふれあい健康館）	相談支援専門員	1
	災害派遣福祉チーム員研修（24日/WEB）	生活支援員	1

年間の研修等受講者の延べ人数→（ 48 ）

※前年度の延べ受講者数は84人

5 利用者の作業支援の状況

（各班の人数は令和3年3月31日現在）

新型コロナ感染防止対策として、9月から通所者だけの「スマイル班」を編成。園芸班とソーイング班の入所者を合わせて「エール班」として再編しました。

（1）ひまわり班 （21名／男9名・女12名）

身体の保持と情緒の安定を図り、基本的な生活習慣の確立及び身体各部の機能訓練を行い、心と体の調和した発達を支援。特に、個々の能力を把握し、障害の程度に応じた機能訓練及び基本的な生活習慣を重点に支援しました。また、各種運動を取り入れ、体力づくりと機能低下防止に努めてもらいました。

（2）スマイル班 （23名／男13名・女10名）

新型コロナの感染拡大防止を目的として、令和2年9月から通所者を「スマイル班」に集約。作業室への出入口及び昼食場所については入所者と分離し、できるだけ接触がないようにしました。通所者を一つの班に集約したため、個々の能力に応じた作業訓練メニューをつくり、自主性や協調性を身につけられるよう支援しました。

（3）アサヒ班 （19名／男12名・女7名）

作業を通じて意欲や根気強さを養い、作業に対する喜びを知ってもらうとともに、他の利用者との協調性を図り、責任感を持ってもらえるようにしました。また、生活支援を通じて清潔感を醸成し、規則正しい生活習慣を身につけてもらえるように努めました。さらに、各種運動を取り入れ、明るく健康で素直な精神と体力が養われるよう支援しました。

（4）エール班 （19名／男7名・女12名）

園芸の部門では、作業を行う際、個々の能力にあった役割を分担し、作業意欲や安定性、確実性の醸成とともに興味や自信を持ち、楽しく作業に参加できるよう支援しました。ソーイング部門では、手芸品などの制作を通じて、ものづくりの喜びと楽しさを知り、協調性や責任感を持てるよう支援しました。そして、商品として社会の中で流通するという認識を持つことで、ものを大切にするという気持ちを持ってもらうとともに、作業への参加が社会経済活動であると認識できるよう努めました。

また、地域住民との交流を通じて社会性が向上するよう、清掃活動やボランティア活動への参加を促進するとともに、洗濯作業を通じて清潔感を養い、生活のスキルが高まるよう支援しました。

（5）カモト班 （17名／男12名・女5名）

作業を通じて意欲や根気強さを養い、作業に対する喜びや他の利用者との協調することの大切さを知り、責任感を持てるよう支援しました。また、生活支援を通じて清潔感を醸成し、規則正しい生活習慣が身につくようにしました。さらに、各種運動を取り入れ、明るく健康で素直な精神と体力が持てるよう支援しました。

6 利用者の活動状況

(1) 利用者の日課

利用者の日課表		
	平 日	土 日 祝 日
07:00	起床・洗顔	起床・洗顔
07:15	手洗い、朝食準備	手洗い、朝食準備
07:30	朝食、終了後自由時間	朝食、終了後自由時間
08:30	ホームルーム、検温	08:30~10:00 朝会、体温・血圧測定 (日曜)洗面用具の点検消毒など
08:45	職員朝会	
09:00	利用者朝会	
09:10	モーニングウォーク	
09:30	清掃、人数確認、洗顔、歯磨き、検温 班別支援(作業)、保健衛生、血圧測定	10:00 ティータイム 自由時間(買物実習)
11:50	手洗い・昼食準備	手洗い・昼食準備
12:00	昼食・休憩	昼食・休憩
13:00	班別支援(作業)、検温、入浴	自由時間(買物実習)、検温
15:00	体操、ジュース、班別支援(作業)、検温	ティータイム、自由時間
16:00	居室の清掃	居室の清掃、自由時間
16:30	ホームルーム、自由時間	
16:45	手洗い・夕食準備	手洗い・夕食準備
17:00	夕食、終了後自由時間	夕食、終了後自由時間
17:30	自由時間	自由時間
19:00	検温	検温
21:00	就寝準備	就寝準備
22:00	就寝	就寝

※入浴は、男女とも、6月～9月は月・火・水・金、10月～5月は月・水・金に実施。なお、必要な場合は適宜実施。原則として、大浴場の入浴は13時から女子、14時から男子が使用。

(2) 年間の活動状況

参加者数欄の()は引率職員の数

行 事 区 分				
学園行事・保護者行事 (○学園、●保護者)		参加者数	スポーツ・地域交流 (○スポーツ、●交流)	
			参加者数	
■4月				
○ひまわり班お楽しみ会(16日/園内)	19名	(7)		
○カモト班ドライブ(21日/学園周辺)	12名	(5)		
○ソーイング班お楽しみ会(21日/体育館)	15名	(2)		
○カモト班お楽しみ会(30日/体育館)	12名	(5)		
○春の定期健康診断(20~30日/村上内科)	92名			
■5月				
○カモト班お楽しみ会(12日/体育館)	19名	(3)	○春の健康ウォーク(20日/学園周辺)	85名(29)
○ソーイング班お楽しみ会(14日/園内)	15名	(3)		
○バースデープレゼント(25日/園内)	7名			
○ひまわり班お楽しみ会(27日/園内)	19名	(7)		
○園芸班楽しむ行事(28日/東部公園)	15名	(4)		

（前頁からの続き）

参加者数欄の（ ）は引率職員の数

行 事 区 分				
学園行事・保護者行事 (○学園、●保護者)		参加者数	スポーツ・地域交流 (○スポーツ、●交流)	参加者数
■ 6月				
○カモト班楽しむ行事（12日/東部公園）	17名（3）	●園芸班クリーン活動（1日/淡島海岸）	14名（4）	
○ひまわり班ドライブ（17日/小松島）	19名（6）			
○園芸班楽しむ行事（25日/体育館）	17名（4）			
○バースデープレゼント（26日/園内）	6名			
■ 7月				
○お誕生会（8日/食堂）	名（ ）	●作品展見学①（8日/那賀川図書館）	14名（3）	
○ミニ夏祭り（9日/調理実習室）	89名（6）	●作品展見学②（10日/那賀川図書館）	14名（3）	
○園芸班楽しむ行事（17日/竜宮公園）	16名（4）	●園芸班清掃活動（31日/東部公園）	14名（4）	
○テイクアウト食①ピザ（21日/園内）	8名（2）			
○テイクアウト食②寿司（22日/園内）	13名（2）			
○テイクアウト食③マック（30日/園内）	19名（3）			
○ひまわり班ドライブ（30日/ ）	19名（6）			
○テイクアウト食④マック（31日/園内）	21名（3）			
○アサヒ班ドライブ（31日/日和佐）	18名（6）			
○カモト班ドライブ（31日/由岐）	16名（4）			
■ 8月				
○テイクアウト食⑤マック（4日/園内）	3名（1）			
○バースデープレゼント（20日/園内）	9名			
■ 9月				
○お誕生会（9日/食堂）	7名			
○お月見会（15日/調理実習室）	70名（25）			
○秋の定期健康診断（9～29日/村上内科）	93名			
■ 10月				
○お誕生会（7日/食堂）	9名	●エナジー見学（9日/文化の森）	18名（3）	
○ミニ秋祭り（22日/体育館）	90名（7）	●クリーン活動（23日/淡島海岸）	16名（5）	
■ 11月				
○テイクアウト食①ピザ（4日/体育館）	15名（2）			
○お誕生会（5日/食堂）	7名			
○テイクアウト食②寿司（10日/体育館）	9名（2）			
○テイクアウト食③モス（23日/体育館）	14名（2）			
○ひまわり班ドライブ（24日/日和佐）	19名（6）			
○テイクアウト食④カレー（25日/体育館）	15名（2）			
○ミニ運動会（26日/運動場）	88名（35）			
■ 12月				
○年末大掃除（8・18日/学園内）		●四電青年部慰問のため来園（22日）		
○お誕生会（9日/食堂）	6名			
○冬祭り（15日/体育館）	93名（39）			
○クリスマス会（22日/体育館）	90名（7）			

（前頁からの続き）

参加者数欄の（ ）は引率職員の人数

行 事 区 分				
学園行事・保護者行事 （○学園、●保護者）		参加者数	スポーツ・地域交流 （○スポーツ、●交流）	参加者数
■ 1月				
○初詣（1日/円長寺）	10名	(2)		
○エール班ドライブ（5日/小松島）	20名	(5)		
○カモト班お楽しみ行事（12日/園内）	17名	(3)		
○お誕生会（13日/食堂）	9名			
○テイクアウト食①牛丼（15日/体育館）	13名	(2)		
○テイクアウト食②マック（18日/体育館）	21名	(3)		
○成人を祝う会（19日/体育館）	対象者	1名		
○テイクアウト食③お好み焼き（20日/体育館）	13名	(2)		
○テイクアウト食④寿司（22日/体育館）	7名	(2)		
■ 2月				
○新年会（9日/体育館）	92名	(7)	○オンラインスポーツ（16日/防災棟）	12名 (4)
■ 3月				
○お誕生会（9日/食堂）	12名		○モーニングウォーク大会（26日/園周辺）	87名(33)
○テイクアウト食①ピザ（10日/園内）	12名	(2)		
○淡島祭（16日/園内）	92名	(32)		
○テイクアウト食②唐揚げ（19日/園内）	10名	(2)		
○テイクアウト食③焼肉（19日/園内）	13名	(2)		
○テイクアウト食④マック（22日/園内）	19名	(2)		
○送別会（31日/学園内）	退職者	3名		

※上記のほか、学園内でハッピー体操（毎月3回）、絵画教室（毎月2回）、書道教室（毎月2回）、日舞（月2回）、利用者の散髪（年6回）を実施。